

*** 国立天文台 0B 入江氏から多数の資料提供、第1弾：天文台周辺の変遷**

アーカイブ室新聞 321号に昭和43年(1968年)10月1日発行の「東京天文台案内」を入手したという記事を書いた。この記事がきっかけで国立天文台 0B の入江氏から種々の資料提供があった。

- 1) 文部省国立天文台 乗鞍コロナ観測所パンフレット(発行年不詳 1988年以降、1992年7月31日のプロミネンス写真がある)
- 2) 文部省国立天文台 乗鞍コロナ観測所パンフレット(発行年不詳、1)よりも古い1988年以降発行、1989年1月30日のプロミネンス写真がある)
- 3) 国立天文台 乗鞍コロナ観測所パンフレット(発行年不詳 2004年以降、フレア望遠鏡の写真がある)
- 4) 東京大学東京天文台 乗鞍コロナ観測所パンフレット(発行年不詳、Sep. 24, 1981のH α 太陽像がある)
- 5) 東京大学東京天文台 乗鞍コロナ観測所パンフレット(1972年発行)
- 6) 文部省宇宙科学観測所 三陸大気球観測所絵葉書(昭和56年8月発行)
- 7) 国立天文台パンフレット(1988年11月10日、東京天文台職員組合発行)
- 8) 東京天文台案内(昭和43年10月1日、東京天文台職員組合発行)
- 9) 東京天文台見学案内(昭和49年10月20日、東京天文台職員組合発行)
- 10) 東京天文台パンフレット(1980年11月15日、東京天文台職員組合発行)
- 11) 東京天文台スケッチ絵葉書7枚組み(発行年不詳、10mパラボラ赤道儀電波望遠鏡が描かれている、描いたAkira Satoの署名入り)
- 12) 東京天文台スケッチ絵葉書(6種類、発行年不詳、11)とかなりダブル)
- 13) 東京天文台見学案内(昭和38年9月10日、東京天文台職員組合発行)
- 14) 東京大学東京天文台パンフレット(1978年発行)
- 15) 東京大学東京天文台パンフレット(1973年発行)
- 16) 東京大学東京天文台パンフレット(1966年北研完成時のもの)
- 17) 東京大学東京天文台パンフレット(1983年4月発行)
- 18) 三鷹市地図、明治13年測図、明治39年測図、昭和2年修正測図、昭和20年修正測図、昭和45年測図、昭和55年測図、平成元年修正測図
- 19) 三鷹100周年・市制施行40周年記念市勢要覧(1990年(平成2年10月、東京都三鷹市発行))

以上19点の提供を受けた。すべて譲渡されたものではなく、あるものは資料として記録した後に返却を求められたもの(三鷹市の7時代の地図)もある。また既に提供を受け所

蔵しているもの（天文台パンフレット、見学案内の一部）もあるが、今回以上の19点を提供された。貴重なものばかりである。特に明治13年から平成元年に至る7枚の各時代の地図は貴重である。明治13年のものにはまだ中央線も走っていない。これらの地図の東京天文台付近の変遷を紹介したい。



図1 明治13年天文台周辺



図2 明治39年天文台周辺



図3 昭和2年 天文台周辺



図4 昭和20年 天文台周辺

当然のことながら、図1の明治13年、図2の明治39年の地図には東京天文台は現れない。昭和2年になって天文台という表示が現れる。昭和20年には調布飛行場が見える。



図5 昭和45年 天文台周辺



図6 昭和55年 天文台周辺



図7 平成元年 天文台周辺

このように、明治13年（1880年）から平成元年（1989年）の実に109年の変遷である。昭和2年の地図には筆者が検証、追跡をした国際報時信号受信用の60m鉄塔アンテナも表示されている。今回は入江氏提供のうち、天文台周辺の変遷の様子を見てみた。